

環太平洋パートナーシップ首脳声明

(外務省仮訳)

2012年9月9日

我々、オーストラリア、ブルネイ、チリ、マレーシア、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、アメリカ合衆国、及びベトナムの首脳は、我々の国が13回のTPP交渉会合で得た進展に留意しつつ、2011年11月にホノルルで行った、貿易と投資を自由化及び促進し、新旧の貿易問題や21世紀型の課題に対応する、包括的で次世代型の地域協定をつくるという我々の約束を再確認した。我々は、ホノルルでの会合以降に行われた4回の交渉会合や中間会合において我々の交渉担当者が得た重要な進展に基づき、この目標が手の届くところにあることを確信している。TPPの妥結は、アジア太平洋地域での自由貿易につながる有望な道となり、我々の市場における雇用の創出や維持を支え、我々の競争力を強化し、域内の経済成長を促進し、開発目標を前進させるだろう。

我々は、我々の製造業者、サービス事業者、農家、牧場経営者、労働者、及び消費者が、この協定から得られると我々が予想する大きな利益をできる限り早く享受し始められるように、交渉を早期に妥結するための我々の努力を新たにすることに合意する。そうする中で、我々の交渉担当者は、ステークホルダーから寄せられた多様な意見を慎重に検討し、総合し、反映すべきである。我々は、この野心的で次世代型の貿易協定を、多様な我々の国の間のバランスを適切にとる方法で交渉することの課題も認識している。この目標に向かって、また、交渉担当者が今週第14回交渉会合を開始する中で、我々は、交渉チームに対し、交渉中の残る問題について、实际的で、創造的で、柔軟で、相互に受け入れ可能な解決策を早急に見出すように指示した。

我々は、メキシコ及びカナダとの数か月の詳細な協議を経て、両国が、交渉妥結に向けた進展を遅らせることなく、我々がTPPで達成することを追及している高いレベルの野心を約束していることを確認した。これを受けて、我々は、メキシコ及びカナダを新たなTPPのパートナーとして歓迎する。我々は、両国の交渉への参加は、このイニシアティブの潜在性を再確認するものであり、現在の9カ国のパートナーシップがアジア太平洋地域の他国へと拡大する重要なステップであると考えている。同時に、我々は、交渉チームに対し、TPP参加に関心を表明した他のアジア太平洋のパートナーの将来的な参加を促進するため、これらのパートナーとの対話を継続するよう指示した。

(了)